

2011年5月21日

ニュースリリース
株式会社五藤光学研究所

平塚市博物館 ハイブリッド・プラネタリウムにリニューアル

株式会社五藤光学研究所（取締役社長：五藤 信隆、東京都府中市）は、平塚市博物館（神奈川県平塚市）に「ハイブリッド・プラネタリウム」を納入設置した。同システムは、LEDを採用した恒星投映装置「パンドラ」に小型惑星投映機を組み合わせ、さらに独自のノウハウによる全天周デジタル映像システムを融合した新しいシステムである。

同施設は5月21日（土）より一般公開されている。

株式会社五藤光学研究所（取締役社長：五藤 信隆、東京都府中市）は、天文機器に関する総合メーカーである。1926年の創業時は小型天体望遠鏡を製造。1959年には光学式プラネタリウムの開発に成功し、日本及び世界各地に同設備を納入している。2004年からは光学式プラネタリウムと全天周デジタル映像システムを融合させた「GOTO ハイブリッド・プラネタリウムシステム」を開発し、国内外に数多くの納入実績がある。

平塚市博物館（神奈川県平塚市）は、「相模川流域の自然と文化」をテーマに活動している地域博物館。1976年（昭和51年）、直径10m水平型プラネタリウム「GX-10（五藤光学製）」により開館。1989年（昭和64年/平成元年）には、コンピュータ制御により投映プログラムの複雑な演出が可能となった「G1014」に更新。今回の「パンドラ」は3代目にあたる。

恒星投映装置「パンドラ」は、最先端の原板加工技術と高輝度LEDの採用により、自然で美しく、明るい星空を再現し、直径6~15m（推奨12m）に対して、約4,000万個（天の川恒星を含む）の恒星を投映することが出来る。2010年秋、羽田空港国際線旅客ターミナル“Planetarium Starry Cafe”に1号機を納入。その後も国内外への納入が相次いでいる。

平塚市博物館では、「パンドラ」に小型惑星投映機を組み合わせ、独自のノウハウによる全天周デジタル映像システムを融合した新しい「ハイブリッド・プラネタリウム」が実

現した。同館の従来機種よりも操作性が向上し、光学式の星空と 88 種類の星座絵や星座線を一体的に制御することは勿論、デジタル映像による多彩な演出も可能となった。

全天周デジタル映像システムは、2 台の JVC 製プロジェクターに五藤光学製の 4 K × 4 K 解像度対応専用レンズを装着することで、全天に高精細映像の迫力ある宇宙空間を実現した。さらに全天周に非圧縮の映像を再生することができる「非圧縮映像サーバー (Dimos)」を搭載。非圧縮の高解像度映像をリアルタイムに歪ませ、投映光学系の収差なども補正したシャープでクリアな映像の投映が可能となった。

同時に設置されたコンソール (操作卓) では、機器の操作は勿論、室内照明やカラー照明を操作し、プラネタリウム室内を色彩豊かに演出することが容易になった。

同館へは、JR 東海道本線「平塚駅」下車、徒歩 15 分。「日産車体前」バス停下車、徒歩 3 分。その他の情報は同施設の HP をご参照下さい。

〒254-0041 神奈川県平塚市浅間町 12-41

オフィシャルHP <http://www.hirahaku.jp/>

< 解説 >

株式会社五藤光学研究所 (GOTO INC)

プラネタリウム、大型映像システム、天体望遠鏡製造のトップメーカー。特にプラネタリウムでは国内シェアの約 7 割を占めている。全天周フィルム映像 (アストロビジョン) や 3D デジタル映像装置 (バーチャリウム) を他社に先駆けて開発、発表する他、機器設備の能力を活かした映像コンテンツ制作も行う「ドーム空間のトータルクリエイター」である。

〒183-8530 東京都府中市矢崎町四丁目 16 番地

オフィシャルHP <http://www.goto.co.jp/>

平塚市博物館

平塚市博物館 (神奈川県平塚市) は、「相模川流域の自然と文化」をテーマに活動している地域博物館。市民の幅広いニーズに答えるために、平塚市という行政区画だけにとらわれず、周辺部も含む広い視野で地域をとらえ、総合的な分野を持った博物館として活動している。いろいろな視点から自然と文化について見直し、地域の未来を切り開く糸口となる情報を提供している。

〒254-0041 神奈川県平塚市浅間町 12-41

オフィシャルHP <http://www.hirahaku.jp/>

ハイブリッド・プラネタリウム (HYBRID PLANETARIUM)

株式会社五藤光学研究所が開発、提唱する新しいプラネタリウムシステム。光学式プラネタリウムと、様々な迫力ある映像を投映する全天周デジタル映像システムを組み合わせ、各々が常に同じ座標空間を投映できる仕組みを有するもので、国内外に数多くの納入実績がある。同システムは、「ケイロン」「スーパー・ヘリオス」「クロノス」「パンドラ」などドーム径に応じた光学式投映機を有しており、ドーム径 6m から最大 50m まで幅広く対応している。

ハイブリッド・プラネタリウム (HYBRID PLANETARIUM) およびクロノス (CHRONOS) は、株式会社五藤光学研究所の登録商標です。

非圧縮映像サーバー (Dimos)

非圧縮映像サーバー (Dimos : Digital Image/MOvie Server) は、株式会社五藤光学研究所が開発した映像サーバーである。20 年に及ぶ全天周デジタル映像システムの開発で蓄積してきた独自のアルゴリズムにより、非圧縮の高解像度映像をドームスクリーンに対してリアルタイムに歪ませ、臨場感の高い映像を映し出せるだけでなく、投映光学系の収差なども補正した、シャープでクリアな映像を投映可能とした。本映像サーバーによる映像は、一般的な動画再生システムと違い、圧縮による映像の劣化がなく、リアルタイムで描画するシステムと同様の解像感のある映像が投映できる一方、リアルタイムで描画するシステムでは難しい細かな部分のディテールまでこだわった、緻密で精細な映像を投映することができる。

以 上